



せいのぼく(こう) 堺泉北港は15～17世紀ごろ海外との貿易で栄えた「堺港」と昭和に入ってから整備が進んだ「泉北港」が
 1969年(昭和44年)に統合して誕生した港です。誕生したころから、せいのぼく(こう)とせいのぼく(こう)のあいだにどうぶつ(どうぶつ)が堺泉北臨海工業地帯を支える工業港と
 して発展し、関西の物流・生産・エネルギー供給に貢献してきました。最近ではエコポートモデル事業や泉大津
 フェニックス計画など、環境を重視した取り組みも進んでいます。

大和川の河口近くで水質を改善するため、人工的に干潟^{ひがた}を作っています。

外国から果物を輸入している施設です。バナナやシトラス類(レモン、オレンジ、グレープフルーツ)が主な輸入品です。

堺泉北港に出入りする貨物の2割を取り扱っている埠頭で、主な貨物は中古車や鋼材です。フェリー乗り場やコンテナヤード、ガントリークレーンが整備されているのもこの助松埠頭です。

多数の上屋・倉庫・岸壁が整備されている埠頭で、外国との貿易に活躍しています。主に、中古車・鋼材・合板・砂利・砂などが取り扱われています。

家庭から発生するゴミを焼却場^{しょうきやうじょう}で燃やした後の燃えかすや、工事現場で発生した土などを、海を埋め立てる材料として再利用するフェニックス計画が泉大津津で行われています。完成した土地は、海外に輸出される中古車の保管場所や野外コンサートの会場などに利用されています。

関西国際空港の海上の玄関口
となっている港で、空港の利用
客を運ぶ高速旅客船や航空燃
料を運ぶオイルタンカーがやっ
てきます。



ふ け こう
深日港
 大坂湾最東端の港です。昔から

隣にある佐野漁港には食品コンビナートがあり、食品関係の企業そうぎようが操業しています。

隣にある佐野漁港には食品コンビナートがあり、食品関係の企業そうぎようが操業しています。

ヨットハーバーがあり、ボートやヨットを楽しむ人々で賑わっています。

ヨットハーバーがあり、ボートやヨットを楽しむ人々で賑わっています。

大阪府最南端の港です。きれいな海が広がっており、周辺は釣りを楽しむ人で賑わっています。

大阪府最南端の港です。きれいな海が広がっており、周辺は釣りを楽しむ人で賑わっています。

大阪湾
大阪湾海洋公園
大阪湾立水産試験場

多奈川

大阪湾
大阪湾海洋公園
大阪湾海洋公園
多奈川

最近は、港でも環境に気を配って整備を行うことが求められています。ここでは行政・NPO・ボランティア^{なえび}企業が一緒になって、苗木を植えるなど、「森」の整備を行っています。



1950年代半ばから1960年代半ばに建設された工業地帯で、鉄鋼、石油、ガスなどを扱う工場が多く建ち並び、

関西有数の規模を持っています。ここには、全長300メートルクラスの巨大タンカーが入港することもあります。また、堺浜（堺2区）に大手電機メーカーが液晶パネルや太陽電池を作る工場を建設するなど、大きな注目が集まっています。

岸和田カシカシ
ベイサイドモール

—巴港

陸地沿岸を航行する小型船の
避難港・寄港地となっています。

陸地沿岸を航行する小型船の
避難港・寄港地となっています。

尾崎



大阪府立青少年海洋センター ●

淡輪遊園 ●
淡輪

1968年(昭和43年)、「^{たまたかこう}忠岡港」「^{しほだ とう}岸和田港」「^{かいづかこう}貝塚港」の3つの港が統合して誕生した港です。最近^{さいきん}は岸和田市沖のちきりアイランド(阪南2区)、貝塚市沖^{にしき}の二色地区の整備が進められています。また、人工干潟^{じんこう かんがた}を作るなど自然環境を重視した取り組みも行われています。

阪南港誕生のきっかけになっ
た地区で、大規模な貯木場が
整備されています。

現在埋め立てが進んでいる地区で、完成した土地には、コシエ卸却場（岸和田市貝塚市クリーンセンター）や工場が建てられています。また、人口干涸や緑地がつくれるなど、人と海がふれあえる港づくりが進められています。ちなみに、地元の岸和田市にある岸和田城の別名が「ちきり城」であったことから、この名前がつきました。

せんなん
泉南地
活躍す
も新し
側には
り、約
を建設

阪南地区の物流の玄関口として活躍する埠頭で、阪南港では最も新しい埠頭です。この埠頭の南側には二色の浜産業団地があり、約100社の企業が工場などを建設しています。